

2005(平成 17)年度事業報告書

平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 野生生物保全論研究会

1 事業実施の内容

平成 17 年度においては、研究会の運営並びに野生生物保全プロジェクトとしての調査・提言、生息地における野生生物保全活動に対する支援及び普及啓発の事業を行った。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の 人数	受益対象者の範囲 及び人数	支出額 (千円)
研究会の運営	・野生生物保全のための実践的理論の構築、普及	通年	事務局	30 人	会員・・・ 正会員 138 人 支持会員 47 人	367
野 生 生 物 保 全	調査・提言	通年	事務局	30 人	民間団体 20 団体 会員 正会員 138 人 支持会員 47 人	468
	生息地における野生生物保全活動に対する支援	通年	ロシア インド ミャンマー ケニヤ	4 人	生息地で活動する レンジャー等 400 人	1,143
プ ロ ジ エ ク ト	普及啓発	年 9 回	都内 千葉 大阪 山梨 鹿児島	30 人	参加 200 人 閲覧 1,000 人	654
	国際会議 開催	2 回 1 回	北京 インド 都内	3 人	アジア 30 団体	3,460
	会報発行	年 8 回 通年	事務局	10 人×8 回 3 人	発行 3,000 部	751

2005(平成17)年度 事業報告

特定非営利活動法人 野生生物保全論研究会

1. 研究会の運営

- (1) 理論研究会 5/21 12/15 研究会開催
- (2) 野生生物保全教育研究会 5/15 6/26 7/24 9/3 11/23 1/7 研究会開催

2. 調査提言

- (1) 6/27-7/1 第53回 CITES 常設委員会において、「象牙の国内取引規制を検証する CITES 使節団」報告書提出される。JWCSも非公式にヒアリングを受けた(2005.3)。
- (2) 宮崎の動物園がゾウをタイから輸入することに対し、批判の記者発表
- (3) 9/15 日本テレビ「世界まる見え!テレビ特捜部」(奇跡の復活劇トラの野生化プロジェクト)に対し抗議文送る。
- (4) 11/17 「東シベリア・太平洋石油パイプライン建設問題に関する要望書」を内閣総理大臣に提出。FoEジャパンと署名活動。【トラ保護基金】
- (5) 1/9 「野生生物保護法制定をめざす全国ネットワーク」主催「鳥獣保護法改正ここを変えたい!緊急集会」にて発言(東京・文京シビックセンター)
- (6) 1/13 「鳥獣保護及び狩猟の適正化に関する法律」(鳥獣保護法)改正にあたり、中央環境審議会答申に対し意見提出
- (7) 2/4 「ロシアの自然を破壊する シベリア~太平洋石油パイプライン計画報告会」をFoEジャパンと共催。(東京・環境パートナーシップオフィス)【トラ保護基金】
- (8) 2/27 ユウタン取引問題について記者会見報告書『闇の中のユウタン(熊胆)取引・ユウタンの実態とその規制のあり方に関する調査研究Ⅱ』発表(環境省記者クラブ)

3. 生息地における野生生物保全活動に対する支援

- (1) 7/11 12/12 ケニア 薬代送金 383,033 円【ゾウ保護基金】
- (2) 11/18-22 「インド野生生物トラスト(WTI)」とレンジャー支援について打ち合わせ(インド)【トラ保護基金】
- (3) ミャンマー トラ調査支援 60,000 円【トラ保護基金】
- (4) 2/10 ロシア「タイガーボランティア」支援 210,995 円【トラ保護基金】
- (5) 3/1 インドWTI支援 476,940 円【トラ保護基金】

4. 普及啓発

- (1) 4/23-24 アースデイ東京に出展(東京・代々木公園)
- (2) 6/4 年次総会 シンポジウム「動物のこころ、人間のこころ-野生生物の保全をめぐる-」(東京・ヤマザキ動物専門学校)
- (3) 7/9-10 アースガーデンに出展(東京・代々木公園)
- (4) 7/30-31 IUCN 親善大使イルカさんコンサートにてパネル展示(山梨・大阪)
- (5) 7/2 科学教育者協議会鹿児島大会にて出展

- (6) 8/2-10/30 千葉市動物公園にてパネル展開催 10、19日ゾウ紙芝居
- (7) 10/22-23 アースガーデンに出展 (東京・代々木公園)
- (8) 2/18 ワイルドライフカレッジ公開セミナー開催「外来生物問題と絶滅危惧種への影響」羽山伸一氏(東京・オカモトヤビル)
- (9) 3/22-5/30 千葉市動物公園にて活動パネル展示

5. 国際会議開催

- (1) IUCN 加盟 IUCN日本委員会 加盟
- (2) 4/12-16 アジア野生生物保全連合(ACA)会議開催(北京)
- (3) 11/18-21 アジア野生生物保全連合(ACA)のプロジェクト「野生生物犯罪及び法執行モニタリングシステム(WEMS)」会議開催(デリー)

6. 会報発行

- (1) 5/19 2005年1号(通巻41号)発行 特集・IUCN国際自然保護連合とJWCS
- (2) 7/26 トラ保護基金年次報告(通巻8号)発行
- (3) 7/26 ゾウ保護基金年次報告(通巻5号)発行
- (4) 8/31 2005年2号(通巻42号)発行 特集・動物のこころ、人間のこころー野生生物保全をめぐる
- (5) 11/9 2005年3号(通巻43号)発行 特集・野生動物の再導入・野生復帰
- (6) 12/6 トラ保護通信(通巻5号)発行
- (7) 12/6 ゾウ保護通信(通巻5号)発行
- (8) 2/28 2005年4号(通巻44号)発行 特集・日本で使用されている熊胆(ユウタン)はどこから?

2005年度事業は以下のボランティアのご協力で行われました(敬称略)

研究会運営 葉山恵津子

調査研究 臺信菜穂子 松村かんな 宮先慶徳

イベント開催 五十嵐郁子 池本桂子 一色恵理子 一条 遠藤恭子 加藤謙一 川口洋平 関西トラ保護ネットワーク 河野慶子 児玉由香 権藤眞禎 斉藤幸子 須田佑子 長島君枝 野口節子 畑下陽介 藤城京子 古谷久実 高橋智史 高橋美帆 村山立樹 渡辺美沙 かすい Y Z M

会報作成・発送 飯嶋千恵 工藤宏之 戸川文 萩原幹子 山田喜久子 慎目治子 菅原早苗

広報・HP運営 斉藤たまき 竹内優子 矢部かえで 山本佑子

翻訳 佐治京子 佐藤友香 清水桃子 中川佳子 永野宙代 中村有佳 永嶋一美 原川洋一郎 三輪田祥江 武藤いずみ 若代彰路 翻訳ボランティアグループの皆様

その他 朝山淳子 小倉美香 加藤水菜 永田聖貴 日高真帆 宮澤真結

※事業区分はご協力いただいた主な事業。このほかにもたくさんの方々のご協力をいただきました。ありがとうございました。